

大分県

コミュニティ部門

くにさき

う さ

国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会

次世代につなげよう！世界農業遺産の輪



取組概要

- 平成25年5月「世界農業遺産」として認定を受けた後、「次世代への継承」「地域の元気づくり」の2つを柱に取り組む。
- 「次世代継承」として、小学生には教材本配布や作文コンクールを。中学生には、生産者等を講師とする授業や「中学生サミット」を。高校生には、生産者から聞き書きを行う取組等を実施。
- 「元気づくり」として、特産品の販路拡大につなげるため、シンボルマーク等を商品に表示する応援商品制度を創設。

活動成果

- 世界農業遺産の認定により、住民が自らの地域に誇りを持つきっかけとなり、ため池やクヌギ林でのウォーキング大会の実施や、「両合棚田」での大学生との田植交流会など、地域おこしが進展。
- 聞き書きに参加した高校生から「農業に携わりたい」等の感想が寄せられ、農林水産業を見直す機会となっている。
- 応援商品制度は、平成30年度末現在、51企業・団体の協力が得られ、221商品でシンボルマーク等を表示。

大分県 農林水産部 農林水産企画課
大分県大分市大手町3-1-1

<http://www.kunisaki-usa-giahs.com/>
Tel :097-506-3525 Fax :097-506-1757

漁村女性グループめばる

ソウルフード“ごまだし”で佐伯を元気に！



魚をふんだんに使ったごまだしと鯛味噌

郷土料理「ごまだしうどん」

知事や市長と首都圏でPR

取組概要

- 郷土料理「ごまだし」は、漁師が余った魚を焼いてすりつぶし、ごまや醤油と合わせて作る保存食。
- 製造に手間がかかるため、郷土料理として衰退する中、手軽に味わえる瓶詰の製造に着手。万能調味料としての活用をコンテスト参加やレシピ集発行等を通じて魅力を発信。
- 魚のさばき方から教える教室やごまだしのワークショップ等を各地で開催。

活動成果

- 積極的なPR活動により「ごまだし」は多くの方に受け入れられ、生産が追いつかないほど注目されるようになり、「ごまだし＝佐伯」の認知度向上につながった。
- 魚料理教室やワークショップでは、「美味しい・簡単・きれい」をコンセプトにメニューを提案。子育て世代向けに託児所も設けて取り組み、参加者が年々増加。

漁村女性グループめばる
大分県佐伯市鶴見1384-2

<https://ja-jp.facebook.com/gomadas-i>
Tel: 0972-33-0274 Fax: -

しんすいしき 進水式を推進する会

造船会社が3社、進水式の回数は負けない！



取組概要

- 造船会社が3社あり、進水式をきっかけにしたまちおこしに挑戦。交流人口と滞在時間の増加を目指す。
- 進水式を見に来た観光客を、宿泊・食事・買い物・他の観光につなげるため、壮大な進水式をポスター、旗、のぼり、ポストカードなどでアピール。
- 進水式の動画や今後の日程をSNSで紹介。H30年は3社合計で24回の進水式があった。

活動成果

- 活動4年目。マスコミからの各種取材及び進水式がテレビ、雑誌などで取り上げられ、佐伯市のPRに貢献。
- 佐伯市民に造船のある街としての魅力の再認識が着実に進んでいる。
- 進水式のお問い合わせを造船会社から観光協会及び市商工振興課で対応する運びとなり、地域としての協力関係を構築。

進水式を推進する会
大分県佐伯市城下西町

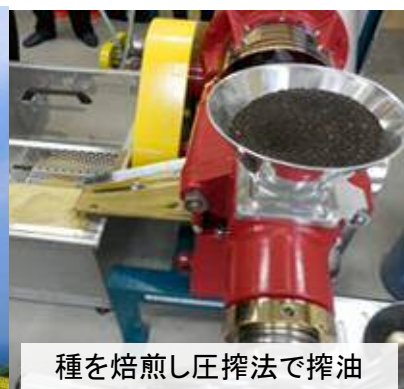
<https://www.facebook.com/shinsuisuishin2016>
E-mail : sik9.tohno@gmail.com

ながさきばな ゆう か
NPO 法人長崎鼻B・K ネット(株) 油花

花を見て、花の種でオイル生産！



よみがえった耕作放棄地 ひまわり畑



種を焙煎し圧搾法で搾油



ショップ販売 オイルレッスン等

取組概要

- NPO法人長崎鼻B・Kネットは四季を通じた花公園化及びキャンプ場の維持運営を、(株)油花は花の種を収穫・搾油、オイル製品の製造販売等を連動して実施。
- 現在約16haのひまわり・菜の花を作付けし、耕作放棄地を再生。花の開花時期のイベント開催などで県内外から集客。キャンプ場周辺の畑や場内の岬では、四季を通じた花の栽培管理・施設管理を実施。

活動成果

- 耕作放棄地に植栽した花が観光資源となり、種子を活用した油の生産・製造により3,500万円を売上げ。
- 花公園・キャンプ場の周年利用が可能となり来場者が増加。ひまわり・菜の花の開花時期には九州各地からの観光バスツアー等で年間約8万5千人が訪れ、交流人口が拡大。
- 常勤・パート等の雇用者数は年間延べ人数で210人。

いしわだ
株式会社石和田産業

ブドウとワインの町、安心院で乾杯



耕作放棄地10ha造成後の矢津地区ブドウ畑



関連会社のワイナリー



ワインコンクール受賞酒

取組概要

- H21年設立。安心院町に適したワイン用ブドウ品種の選定・開発を関連会社の酒造メーカーと進め、高品質ワイン原料を供給。
- ブドウの品質向上に伴いワインの需要が増加。耕作放棄地等の活用でR元年までに16haの農地を確保。生産技術を向上させるとともに供給量を拡大。
- ブドウの安全性を確保するために、青果物のJGAPを取得し、栽培管理を行っている。

活動成果

- 安心院町に適したブドウ品種の選定・開発は、関連会社の高品質ワイン生産へつながり、多くのワインコンクールで最高賞を受賞するなど高評価を得ている。ワインを通して日本中に安心院町の認知度の向上に貢献。
- 食(ブドウ)の安全性を確保しつつ生産技術向上によりブドウ生産量を拡大。耕作放棄地が解消され、農地拡大により雇用が促進されている。

株式会社石和田産業
大分県宇佐市山本2212-2

Tel : 0978-34-2210 Fax : 0978-34-2227

コミュニティ部門

ふかみ

深見地区まちづくり協議会

地域の未来 地域で考え、地域で行動



小規模集落応援：過疎地域の沿道草刈り



花見神楽 年2回開催

桜の木の植樹 小学5・6年生

取組概要

- 集落機能の低下、PTA・老人クラブ等の活動も低迷する中、各団体が相互に協力して問題解決に取り組むため、H21年に当協議会を設立。
- 景観維持のため、史跡や名所の花壇の手入れ、沿道の管理ができなくなった地区への草刈の応援、耕作放棄地への牛の放牧を実施。
- 伝統文化継承のためのしめ縄づくり、神楽の復活。交流促進のための小学校文化祭と地域の祭りの合同化。

活動成果

- 少子・高齢・過疎のため、これまで個別団体だけでは難しかった活動も各団体が相互に協力することで、復活や継続への道筋を作ることが出来た。
- 大学生とのフットパス、郷土料理を主体としたワンコインバイキングも開催。当り前の景色や習慣、料理も地域外の人と交流を行うことにより「地域の宝」として再認識することができ、住民の自信へとつながっている。

深見地区まちづくり協議会(事務局:宇佐市地域交流ステーション内)

大分県宇佐市安心院町矢畑442番地2

Tel :0978-44-4544

Fax: 同左

きよかわ ゆめい ちば
有限会社清川ふるさと物産館夢市場

地域が残れば「道の駅」も残る！！



人気商品酒まんじゅう



道の駅きよかわ内直売所「夢市場」内観



特産のクリーンピーチ

取組概要

- 農産物直売所、レストラン、加工品開発、直営農場、移動販売事業や生活支援サービス事業等を実施。
- 目玉となる特産品や加工品開発に注力。糖度が非常に高い特産の桃「クリーンピーチ」とその規格外品を用いた「ももソフト」、女性グループが米麴を用いた伝統製法で作る「酒まんじゅう」を販売。
- 直営農場で特産のクリーンピーチや金ゴマ、トマトなどを生産。また研修プログラムにより新規就農者育成と農業技術の向上を推進。

活動成果

- 「クリーンピーチ」は幻の桃として人気を集め、「ももソフト」も年間3万個を売り上げ。「酒まんじゅう」は、年間13万個以上販売する看板商品となっている。
- これらの新鮮な農産物や特色ある加工品を求め、年間45万人が来場。地域の重要な集客施設に成長。また雇用者数は36名。地域の大きな雇用の場となっている。
- 都市住民を招いた体験農園や「酒まんじゅう」の体験教室の開催など、地域や農業への理解を促進。

有限会社清川ふるさと物産館夢市場
 大分県豊後大野市清川町砂田1574番地1

<http://mitinoeki-kiyokawa.com/06.html>

Tel : 0974-35-2117 Fax : 0974-35-2130

むろおの会

いちごビネガーで6次産業化から農泊交流へ



商品名「ゆふいちごの恋ビネガー」



交流施設「むろおのDoor」

イベントでの販売

取組概要

- 室小野地区の出荷出来ないいちごの加工品作りを進め、H28年に料理専門学校のパティシエと試行錯誤のうえ、「いちごビネガー」が完成。
- 「ゆふ食の笑談会」に出展。大賞受賞をきっかけに地区の6戸で会を発足し商品化。H30年に地区内の空き家を活用した加工所が完成。
- 会のメンバー4戸が農泊会員。農泊受入時に、体験や食事を提供する施設を加工所の空き部屋を利用し開設。

活動成果

- 商品名・デザイン・容器等は会員が協議。市内の道の駅・地域の祭りやイベントで販売。製造本数はH29年1,000本、加工所が完成したH30年は3,000本。いずれも完売。取引先もH29年の5社からR元年は20社に拡大し、製造本数も5,000本に拡大。
- 農泊客向けの体験施設は、室小野地区の集会や食事会等地域の交流の場としても活用。地区に活気がでたこともあり、都会から2世帯が孫を連れてUターン。

むろおの会

大分県由布市庄内町五ヶ瀬1484番地2

Tel: -

Fax: 097-578-8422

しちとうい くにさき七島藺振興会

儲かる七島藺で田舎に人を呼び込もう



他団体とも積極的にコラボ



関連機器の保守、改良事業



「ものづくり巧の技」展でのPR

取組概要

- 畳の需要減、生産者の高齢化等により、産地消滅の危機を迎えた豊後特産の七島藺を地域産業として再生させるため、当会をH22年に発足。
- 七島藺の魅力を発信するため、物産展等のイベントに参加。メディアを通じてPR。「世界農業遺産認証品」の認証を受け、農水省の「地理的表示保護制度」の登録をH28年12月に取得。
- 七島藺畳の文化的価値を文化財修復に携わる国、県、市町村にPR。

活動成果

- GIの認証を活用し、会全体で七島藺価格の見直しを行い、個々の農家では出来なかった価格引上げを実現。
- Uターン新規就農者支援の機運が高まり、国東市朝来地域では地域の人々がUターンの生産者を支援する仕組みが動き出した。
- 前回の東京オリンピックまで使われていた元祖柔道畳を2020東京オリンピックの公開競技などに使ってもらえるようPRしたい。

くにさき七島藺振興会

大分県国東市安岐町富清3209番地

Tel : 0978-65-0800

Fax : 050-3444-2916